

馬場、浅野町、森山 校下(地区)

# ともに考えよう まちづくりミーティング

平成29年8月27日(日) 14時00分から  
於 元町福祉健康センター 2階 もとまちホール

本日は、お忙しい中をご参加いただき、誠にありがとうございます。  
進行は次のとおりですので、よろしくお願いいたします。

～ 開会前、市政紹介動画の放映 ～

金沢市公式プロモーションムービー  
「カラーセオリーフォーカナザワ」  
「金沢を味わう、映像で」  
「地元プロスポーツチーム応援動画」

今回放映しました市政紹介動画は、  
金沢市のHP“いいね金沢”で  
ご覧になれます。

- (1) 市長あいさつ
- (2) 地域代表あいさつ
- (3) 進行の説明等
- (4) 地域課題の発表
- (5) 地域課題に対する市の方針等の説明
- (6) 地域課題について討議
- (7) 共通課題について討議
- (8) 市長まとめ など

※ 恐れ入りますが、アンケートにご協力ください。  
お帰りの際に、用紙をアンケート箱にお入れください。

金沢市広報広聴課 TEL 220-2348 FAX 220-2030

平成29年度第2回「ともに考えよう まちづくりミーティング」

提出課題一覧表 1

町会連合会名	馬場校下町会連合会
地域課題	馬場校下における人的資源の活用と互助力向上について
課題の内容	<p>馬場校下では、地域の高齢化進展に伴い、一人暮らしの高齢者や、家族と同居していても、家族が仕事等に出かけ、長い日中を一人きりで過ごす高齢者が増加している。これらの高齢者は、日常生活において、大きな支障はなく、介護保険制度、障害者福祉制度などの公的な支援サービスを受けられない場合が多い。</p> <p>日常生活では大きな支障はないものの、簡単な作業に苦慮することは多くあり、必要な時に、必要な援助を受けることができないケースが見受けられる。</p>
特に話し合いたい内容、聞きたい事項等	<p>高齢者の日常生活における困りごとをサポート登録した地域住民（通勤者等を含む）がお手伝いする「サポーター倶楽部（仮称）（※）」に取り組んでいきたい。</p>
課題について、地域での取り組み、特に市と協働で行う事業の提案・提言	<p>「倶楽部」立ち上げ時のサポーター登録を、まずは地域の有志から試験的に行い、最終的には、学生や近隣企業に勤務する社員にも登録いただきたい。サポーター登録が多いほど互助力が向上するので、校下在住の市職員も積極的な登録をお願いしたい。</p> <p>高齢者の困りごとを少しでも解決できるよう取り組んでいくために、市からの具体的なアドバイスをお願いしたい。</p> <p><b>【サポーター倶楽部（仮称）（※）】</b></p> <p>高齢者の困りごと（例：電球、電池の交換、郵便物の投函、宅配受取等、日常生活における軽作業）をサポート登録した通勤者等を含む地域住民が行う。サポーターは、困りごとを解決した対価として「互助チケット（仮称）」を受け取り、記念品等と交換できる。</p>

## 提出課題についての市の方針等 1

地域課題	馬場校下における人的資源の活用と互助力向上について
提案・提言等	<p>「サポーター倶楽部」立ち上げ時のサポーター登録を、まずは地域の有志から試験的に行い、最終的には、学生や近隣企業に勤務する社員にも登録いただきたい。サポーター登録が多いほど互助力が向上するので、校下在住の市職員も積極的な登録をお願いしたい。</p> <p>高齢者の困りごとを少しでも解決できるよう取り組んでいくために、市からの具体的なアドバイスをお願いしたい。</p>
市の方針等	<p>貴連合会で検討されている「サポーター倶楽部」の取り組みは、本市が進めている「地域安心生活支え合い事業」との類似性が非常に高い内容と認識している。</p> <p>「地域安心生活支え合い事業」は、ひとり暮らし高齢者等の孤立防止と日常生活のちょっとした困り事への対応を地域住民主体のボランティアが行うもので、このようなサポート体制を各地区で構築することを目指している。</p> <p>この事業は平成25年度から地区社会福祉協議会を実施主体として、現在、市内54地区のうち、19地区で取り組んでおり、今後、実施地区を順次拡大する予定である。</p> <p>事業運営にあたっては、金沢市福祉総務課と金沢市社会福祉協議会が指導・助言を行うとともに、立ち上げ経費として1地区あたり20万円を地区社会福祉協議会に交付している。</p> <p>馬場校下は、「地域安心生活支え合い事業」を未実施であることから、貴連合会の提案内容について馬場校下社会福祉協議会をはじめ関係団体と協議いただき、是非来年度から実施してほしいと考えている。</p> <p>市職員のサポーター登録については、日頃より職員には地域活動・ボランティア活動を推奨しており、積極的な参加を促していきたい。</p>
担当課	福祉総務課 電話 220-2318      長寿福祉課 電話 220-2288

提出課題一覧表 2

町会連合会名	浅野町校下連合町会
地域課題	多世代間交流による校下の活性化について
課題の内容	<p>人口減少や少子高齢化といった社会変化に伴い、高齢者は、単身世帯が増加し、家に閉じこもりがちとなり、地域とのふれあいや活動に参加する機会が減少している。また、子育て世代では、核家族化、共働き・ひとり親世帯の増加により、地域で子どもを育てていくという連帯意識が希薄となっている。そして、子ども達は、子どもがターゲットとなる犯罪や事件の深刻化等を背景に、地域の中での世代間交流や、子どもが共に過ごし一緒に遊ぶ時間が少なくなっている。</p> <p>浅野町校下においても、高齢者、子育て世代、子ども達のそれぞれの世代で抱える問題が多様化している中で、地域全体として、地縁的なつながりが希薄化している。</p>
特に話し合いたい内容、聞きたい事項等	多世代間の交流を意図的に作り出し、地域コミュニティの活性化につなげたい。
課題について、地域での取り組み、特に市と協働で行う事業の提案・提言	<p>地域では、昨年度から多世代交流イベントの開催に取り組んでおり、三世代によるグラウンドゴルフ大会の開催や、文化祭に地区社会福祉協議会も新たに参加いただき、高齢者の参加を促進する等、行っているところである。</p> <p>さらに、多世代間の交流を促進するために、地域の子ども達が参加するイベントを定期的で開催したいと考えている。</p> <p>孫の活躍を見に来る祖父母をはじめ、地域の高齢者を広く巻き込むとともに、地域住民の人脈を活用し、地元企業も巻き込み、イベント協賛賞品の提供や社員の積極的なイベント参加に協力を求め、イベント自体を活性化することにより、幅広い層における地域交流の実現を推進していきたい。</p> <p>市は、浅野町校下が多世代間の交流が盛んな地域であることを広く周知していただくとともに、定期的なイベント開催にあたり、知恵を貸してほしい。</p>

## 提出課題についての市の方針等 2

地域課題	多世代間交流による校下の活性化について
提案・提言等	浅野町校下では、世代を越えて、お互いがお互いを支え合うことができる地域づくりを進めていくために、多世代間の交流を意図的に作り出し、地域コミュニティの活性化につなげていきたい。
市の方針等	<p>近年、地域活動に参加する住民の減少が進み、地域住民相互のつながりが希薄化しつつある現状を踏まえ、市は、平成29年4月から、地域コミュニティ活性化推進条例（略称）を施行した。</p> <p>条例では、地域住民の役割として、「住民相互の交流を通して連帯意識を醸成し、居住する区域の町会その他の地域活動に参加するよう努める」としているところであり、浅野町校下町会連合会のこれまでの取組は、まさに条例の趣旨に沿うものであると考える。</p> <p>市は、今年度、条例の具現化と地域コミュニティの活性化に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、「地域コミュニティ活性化推進計画」を策定する予定であり、現在、町会をはじめとする地域団体の方々と、鋭意、検討中である。</p> <p>計画の検討の中で、ご指摘のご意見も出ていることから、課題の解決や改善となるよう、今後、施策を検討していきたい。また、個別の相談にも、可能な限り、対応していきたい。</p>
担当課	市民協働推進課      電話 220-2026

提出課題一覧表 3

町会連合会名	森山校下町会連合会
地域課題	鳴和町防災道路の延伸について
課題の内容	<p>山の上町5丁目（通称：天下台団地）には、迂回路が無く、不測の事態（災害・火災）発生時には、町内全域が孤立し、救助・避難等が困難となることから、防災道路の延伸をこれまでもお願いしてきたところであるが、防災道路の整備予定地が急峻な地形であり、整備が困難であると聞いている。</p> <p>地元では、安全で災害に強いまちづくりを進めるために、引き続き整備ルートを検討しているところであります。</p>
特に話し合いたい内容、聞きたい事項等	<p>平成23年度に当該防災道路の延伸に向け、可能性調査を実施していただいた結果、整備が困難であると聞いているが、地元で検討している整備ルートの実現可能性をあらためて検討してほしい。</p>
課題について、地域での取り組み、特に市と協働で行う事業の提案・提言	<p>地元では、平成23年度に整備していただいた鳴和町線（L=190m）と天下台団地を結ぶルートを検討してきた結果、天下台団地と鳴和滝団地の南西部との接道が最適であるという結論に至ったが、これまで鳴和滝団地の南西部に空きスペースはなく、天下台団地からの接道は困難であったが、今回、空き家相続人と地元関係者が話し合う機会があり、道路整備に理解を得ることができた。</p> <p>防災道路としての整備が困難であっても、両団地の緊急迂回路として、一刻も早く整備していただき、安全で災害に強いまちづくりを推進していただきたい。</p>

### 提出課題についての市の方針等 3

地域課題	鳴和町防災道路の延伸について
提案・提言等	<p>平成 23 年度に当該防災道路の延伸に向け、可能性調査を実施していただいた結果、整備が困難であると聞いているが、地元で検討している整備ルートの実現可能性をあらためて検討してほしい。</p>
市の方針等	<p>鳴和町防災道路の天下台団地への延伸などについて、平成23年度に可能性調査を行った。</p> <p>その結果、当該地域は急峻な地形の地すべり防止区域で、土砂災害警戒区域にも指定されており、急斜面に沿って道路整備を実施した場合、災害発生時に避難路としての機能を発揮することは困難と考えている。</p> <p>また、新たな災害の誘発や鹿島神社境内の鳴和の滝への影響も懸念されることから、道路の新設については課題が多いと認識している。</p> <p>なお、隅切り設置などの小規模な交差点改良により、緊急車両等の通行の円滑化を図るなど、防災性向上の施策もあることから、相談願いたい。</p>
担当課	道路建設課 電話 220-2316      道路管理課 電話 220-2321

提出課題一覧表 4

町会連合会名	森山校下町会連合会
共通課題	若者世代の定住促進 (親子の「同居」、「近居」を推奨する施策について)
意見、質問の内容	<p>馬場、浅野町、森山校下では、「同居」が減っている一方で、住居は異なるものの、日常的な往来ができる範囲、いわゆる“スーパの冷めない距離”に居住する「近居」は増加傾向にあります。</p> <p>しかし、各校下の中でも「まちなか区域」では、子世帯が「近居」を希望していても、土地代が高い、また土地が狭くて自家用車も駐車するスペースがないなど、適地が見つからない場合が多く、やむを得ず郊外へ転出するケースも見受けられる。</p> <p>地元としては、世代を越えた地域コミュニティを維持するためにも、特に、各校下の「まちなか区域」を中心に、子世帯が親世帯と近隣に居住することを推奨するための取り組みが必要であると考えている。</p> <p>そのためには、地域として、こども見守りボランティアなど、まち全体で地域の子ども達を見守る体制づくりや、各世代の交流の促進により、子世帯が安心して地域に住み続けることができる環境を整備することが大切だと考えている。</p> <p>市においては、各校下の「まちなか区域」において、子世帯が親世帯と「同居」又は「近居」するための住宅の新築、購入、増改築等への助成枠の拡大又は税制面での優遇なども検討していただきたい。</p>



## 提出課題についての市の方針等 4

共通課題	<p>若者世代の定住促進 (親子の「同居」、「近居」を推奨する施策について)</p>
意見・質問等	<p>金沢市においては、各校下の「まちなか区域」において、子世帯が親世帯と「同居」又は「近居」するための住宅の新築、購入、増改築等への助成枠の拡大又は税制面での優遇なども検討していただきたい。</p>
市の方針等	<p>少子高齢化が進む中、「同居」「隣居」「近居」を推進し、家族間の絆や地域のコミュニティを深めることは、子育て世帯や高齢者にやさしい住環境づくりに大切だと考えている。</p> <p>まちなか区域は、フラットバスなど公共交通機関が充実しており、市としては、この中で親世帯と子世帯が居住することは、実質的に「近居」にあたりと位置づけている。</p> <p>まちなか区域では、定住を促進するため、戸建て住宅の新築・購入など様々な支援を行っており、この仕組みでは、「同居」を促進するために基本支援額を5割増しとしているほか、子世帯が住宅を求めやすいよう45歳未満の若者世帯やUJIターン世帯に対し加算制度を設けている。今年度は、新たに60歳以上の親世帯がまちなか区域で住宅を取得する際に加算制度を追加するなどの拡充を図ったところであり、引き続き、社会情勢や「同居」「隣居」「近居」の動向を見定め、必要な対策を講じてまいりたい。</p> <p>なお、税制面では、同居のリフォームに対する所得税の特例措置がありますが、詳細は、税務署にお問い合わせいただくこととなる。</p>
担当課	<p>住宅政策課      電話 220-2136</p>